

アレルギー Q&A

鼻づまりで困っている。原因は？

●58歳 男性

ここ数年、鼻づまりがひどく困っています。耳鼻咽喉科に受診すると、「鼻ポリープや腫瘍はできていない」とのこと。花粉症などのアレルギーもありません。ほかに考えられる原因と治療法について教えてください。



A

通常、複数の原因が関与している。まずは検査によって原因の特定を

● 笠井耳鼻咽喉科クリニック自由が丘診療室（東京都） 笠井 創先生

鼻づまり（鼻閉）の主な原因には、感染症、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、鼻腔の構造的な問題、腫瘍、外傷、異物、薬剤性などがありますが、単独でおこることは少なく、通常は複数の要因が関与しています。

鼻閉が急におこるものも、多い原因は、かぜ症候群とそれに続発した急性副鼻腔炎によるものです。治療は抗生物質や抗ヒスタミン薬、消炎酵素剤などが使われますが、慢性化して治りきらない場合には手術を考慮することになります。長くつづく鼻閉の原因となる炎症性疾患で多いのは、アレルギー性鼻炎と慢性肥厚性鼻炎です。花粉症がない方でも、ハウスダストやダニが通年性アレルギー性鼻炎の原因となつている場合があります。ほかにも身の回りにはカビやペットの表皮といった原因抗原となり得る物質が無数に存在しますから、血液検査で疑わしいアレルゲンを調べてもらうことも必要でしょう。

ほかにも、さまざまな原因で鼻の粘膜が腫れる血管運動性鼻炎があります。原因には、精神的ストレス、甲状腺機能異常、妊娠、ある種の血圧降下剤、鼻粘膜収縮用の点鼻薬の使いすぎ、香料やタバコの煙など化学物質による刺激などがあげられます。疾患の初期には、鼻閉は一時的であり原因が解決できれば回復しますが、薬物療法でも改善のない慢性鼻閉に対しては、病状程度に応じてレーザーやラジオ波凝固機器による下鼻甲粘膜焼灼術や粘膜切除術などが外来手術として行われます。